

大型連結鉄ふた N B R B 型

施工手順書

施工の前に必ずお読みください。

2005年10月

日之出水道機器株式会社

目 次

1. はじめに	P1
2. 部位の名称	P2
3. 施工部材	P3
4. 施工図	P5
5. 施工上の注意	P6
6. 施工フローシート	P7
7. 施工手順	P8
8. ヒノタイト使用量	P15

別紙：レベル調整部材(施工備品)一覧表
：アンカーボルト位置図
：ヒノタイト使用量一覧表

1. はじめに

このたびは「大型連結鉄ふた NBRB 型（以下「本製品」といいます）」をご使用いただきありがとうございます。

本施工手順書は、本製品の施工方法について必要事項を記載しています。施工の前にはよくお読みいただき、また、お読みになった後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

	その危険を回避できなかった場合には、 死亡又は重傷を負うことが、想定されることを告げるものです。
	その危険を回避できなかった場合には、 軽傷を負うことが、想定されることを告げるものです。
	本製品の機能保持上、お守り頂きたい事項です。

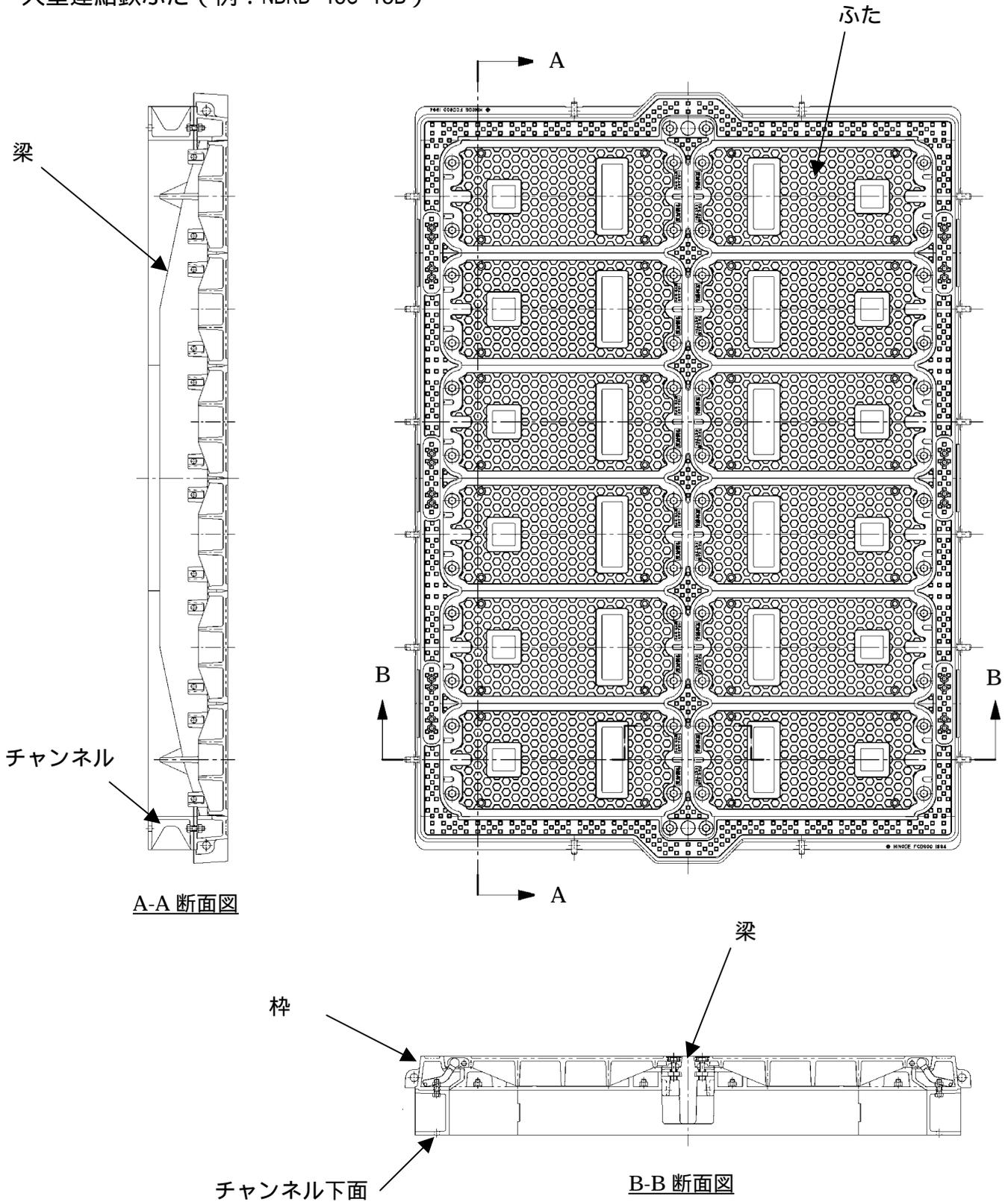


このマークのところは重要です。
しっかりお読みください。

- 本製品の設置・管理にあたっては、道路法、道路交通法、道路構造令、労働安全衛生法、騒音規制法等を遵守し、安全には十分注意してください。
- 本施工手順書に記載されている挿絵は、施工状態を示す図であり、製品の形状を詳細に示すものではありませんので、実製品と異なることがあります。
- 本施工手順書の記載内容でご不明な点がございましたら、弊社営業所までお問い合わせください。

2. 部位の名称

大型連結鉄ふた（例：NBRB-46G-15B）

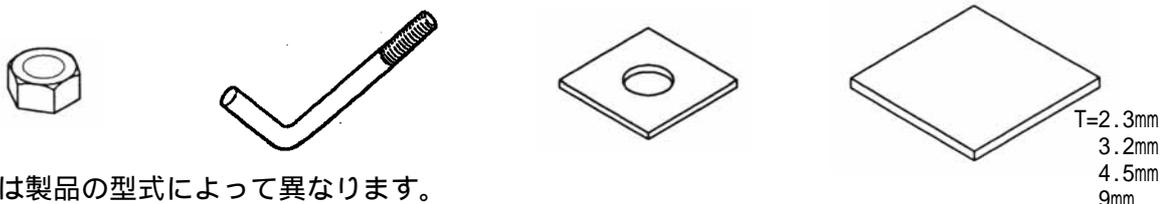


3. 施工部材

3-1. 施工工具および備品

1) レベル調整部材

六角ナット (M20) アンカーボルト (M20) 大型角座金 (呼び 20) レベル調整鉄板 (120)



注) 数量は製品の型式によって異なります。

(レベル調整部材の数量は、別紙「レベル調整部材(施工備品)一覧表」を参照してください。)

2) ヒノタイト DCK - 300 施工工具

プライマ用

工 具	用 途
かはん容器 (洗面器等)	DCK-300 を入れるもの (1 個)
金ベラ	DCK-300 を混練するもの (1 個)
ハケ	DCK-300 を塗るもの (2 個)

ヒノモルタル用

工 具	用 途
混練容器 (ト口箱等)	DCK-300 と珪砂を入れるもの (1 個)
くわ	DCK-300 と珪砂を混練するもの (1 個)
バケツ	ヒノモルタルを運搬するもの (2 個)
掻き板	ヒノモルタル盛り付け用 (1 個)
金コテ	ヒノモルタルの仕上げ (2 個)

3) その他

工 具	用 途
ディスクグラインダ	アンカーボルト切断
水平器	レベル確認
水系	路面高さ確認
ゴム手袋	
ウエス	
ボックスレンチ (呼び 30)	梁の取り外し用
ペンチ	梁締め付けボルトの取り外し用
モンキーレンチ	枠の緊結用
ジャッキ式	梁取り外し用 (必要に応じて 2 セット)
マイストライバ	缶の開封
専用ボール	ふたの開閉 (2 本)

3-2. 副資材

1) ヒノタイト DCK - 300 (主剤, 硬化剤)

ヒノタイト DCK - 300 は調整部の施工において下記の用途で使⽤します。

主剤と硬化剤を混ぜ合わせ、レベル調整鉄板等の積み重ねの際の仮止め、およびレベル調整部材との接着効果を高めるためのプライマとして使⽤します。

乾燥珪砂に、主剤と硬化剤を十分混ぜ合わせたヒノタイト DCK - 300 を混ぜ合わせることで、調整部用のモルタル(ヒノモルタル)として使⽤します。



主剤：黒色（1kg）



硬化剤：赤色（0.5kg）

火気厳禁
危険物第四類 第3石油類
危険等級
(主剤・硬化剤共通)

[取扱い上の注意事項]

ヒノタイト DCK - 300 は健康上注意を必要とする物質を含んだ引火性の液体ですので、下記事項を守ってお取扱いください。



- a) 火気厳禁
- b) 眼・皮膚・衣服に直接触れないように、保護具を着用してください。
(ゴム手袋・前掛け等)
- c) 皮膚についた場合には、よく拭き取り、中性せっけんとうでよく洗い落としてください。湿疹や炎症の兆候が見られたら医師の診察を受けてください。
- d) 目に入った場合には、清浄な水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診察を受けてください。
- e) 作業は通気の良い所で行ってください。(必要により局所排気装置を設けてください。)
- f) 取扱い後は、手や顔を良く洗い、うがいを十分行ってください。衣服等に付着した場合には、よく洗い流してください。



- a) 保管は高温多湿を避け、暗所に貯蔵してください。
- b) ヒノタイト DCK-300 の使用にあたってはラベルの記載の使⽤方法、注意事項等もあわせてお読みください。

【ヒノタイトDC K-300 の使用方法】

ヒノタイトDC K-300 の主剤と硬化剤を配合し、レベル調整鉄板の仮止め、およびプライマとして使用。(ゴム手袋着用)

1) 使用する部材を確認してください。

- ・ 使用材料：ヒノタイトDC K-300
- ・ 使用工具：ゴム手袋、かくはん容器、金ベラ、ハケ

2) ヒノタイトDC K-300 の主剤と硬化剤の容器を、フタが締まっていることを確認し、よく振ります。

3) ヒノタイトDC K-300 の主剤と硬化剤をかくはん容器に重量比 2 : 1 の割合で取り出し、金ベラで充分混ぜ合わせます。

(かくはん時間の目安は、30 ~ 60 秒です。)

4) ハケによりレベル調整鉄板の間・最上面、コンクリート基礎スラブ上面および枠のフランジ下面にプライマを塗布します。

気温毎のプライマ使用可能時間		
10	20	30
約 15 分	約 7 分	約 3 分



プライマの塗布が十分でないヒノモルタルの接着性能が低減するため、プライマは十分に塗布してください。

また、プライマが乾燥する(指で触ってベトつかない程度になる)前にヒノモルタルを打設する必要があります。プライマ塗布作業は速やかに行ってください。

ヒノタイトDCCK-300の主剤と硬化剤、乾燥珪砂を配合し、調整部用のモルタル(ヒノモルタル)として使用。(ゴム手袋着用)

- 1) 使用する部材を確認してください。
 - ・ 使用材料：ヒノタイトDCCK-300、乾燥珪砂
 - ・ 使用工具：ゴム手袋、かくはん容器、金ベラ、混練容器、くわ、金コテ
- 2) ヒノタイトDCCK-300の主剤と硬化剤を重量比2:1の割合でかくはん容器に入れ、金ベラで充分混ぜ合わせるによりプライマとします。
- 3) 乾燥珪砂(重量比 主剤:硬化剤:乾燥珪砂=2:1:16)を混練容器(トロ箱等)に入れ、充分混ぜ合わせたプライマを混入し、くわ等によりむらなく混練することによりヒノモルタルとします。
- 4) 配合したヒノモルタルを、枠のフランジ幅に合わせて盛り付けます。

気温毎のヒノモルタルの使用可能時間		
10	20	30
約45分	約20分	約10分

気温毎のヒノモルタルの養生時間		
10	20	30
3時間以上	2.5時間以上	1.5時間以上

気温が低い日はガスバーナを準備していただくとスピーディに施工できます。



ガスバーナ等を使用の際は、枠フランジを加熱してください。ヒノモルタルに直接火を当てるとヒノモルタルがもろくなります。

ヒノモルタルはガスバーナ等で枠フランジを約 40 ~ 60 に加温すると養生時間が短縮できます。



ガスバーナ等を使用の際は、ヒノモルタルに直接火を当てないでください。ヒノモルタルがもろくなります。

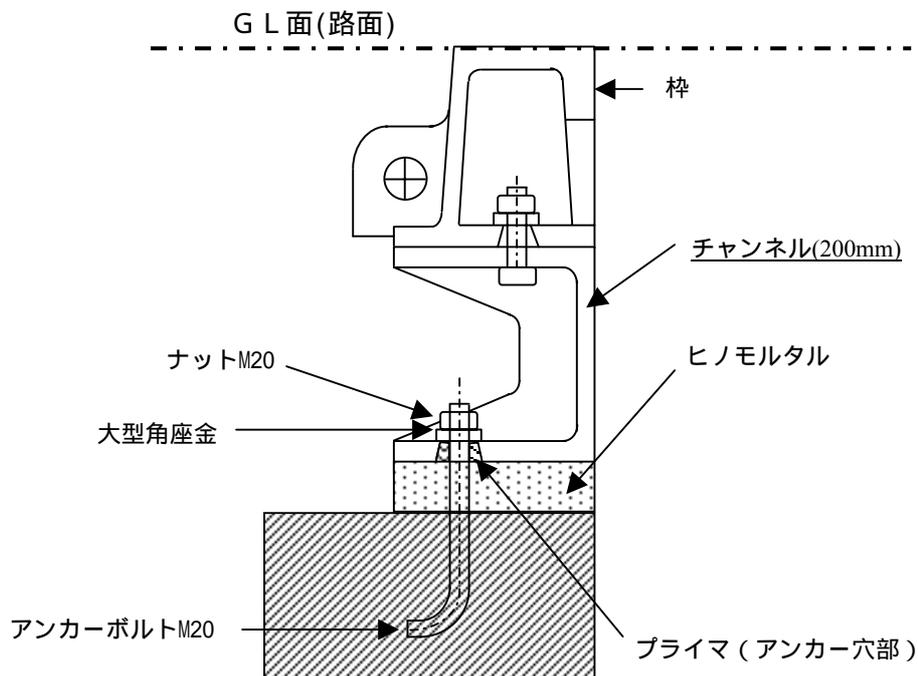


ヒノタイトDCCK-300は主剤と硬化剤を十分に混ぜ合わせた後に乾燥珪砂と混練してください。

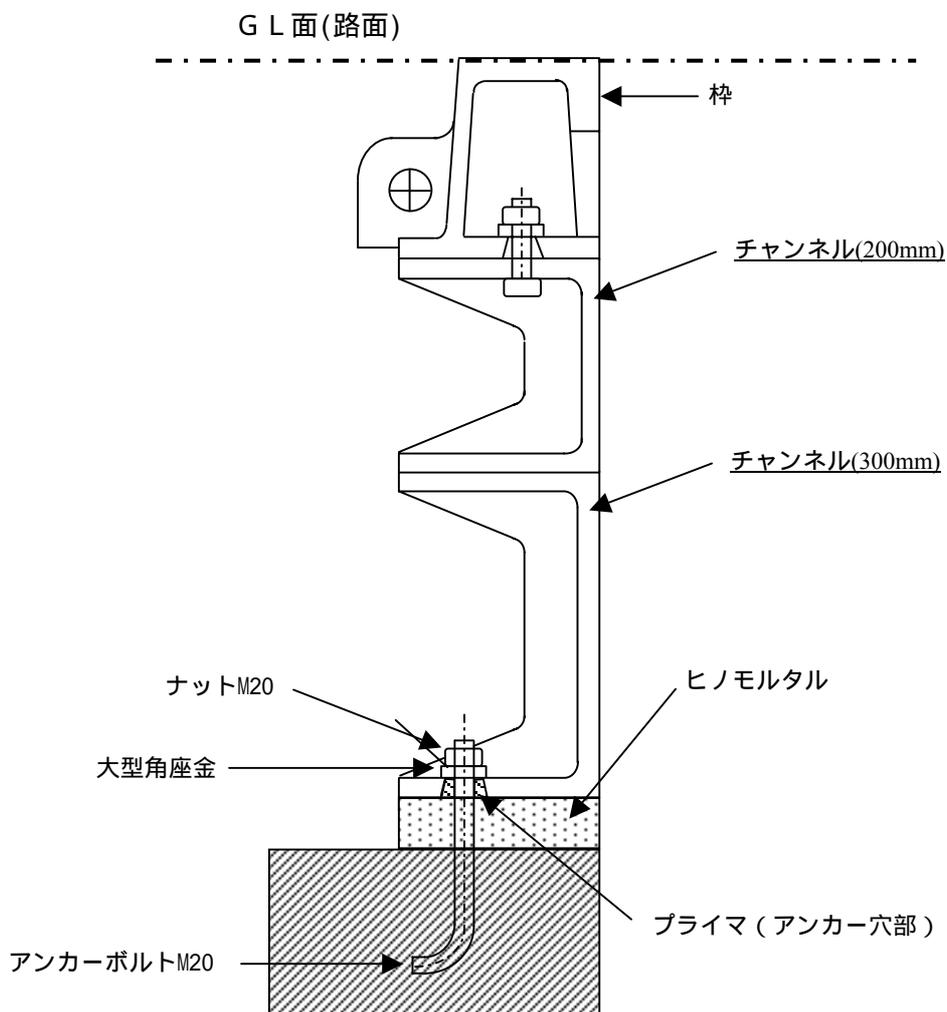
乾燥珪砂に直接主剤と硬化剤を混入し混練すると配合不良となり、未硬化、強度不足の原因となりますのでご注意ください。

4. 施工図

【 枠内径の長手方向が 3000mm 以下の場合（6 枚ふたまで）】



【 枠内径の長手方向が 3500mm 以上の場合（7～10 枚ふたの時）】



5. 施工上の注意

[ヒノタイト DCK-300]

雨天時の作業は中止してください。水分があると、接着不良を生じます。

プライマ・ヒノモルタルの塗布面は、水分・ほこり等が付かないよう十分に清掃をして下さい。

接着強度の低下をまねき、結果として漏水の原因となります。

ヒノタイト DCK-300 は直射日光にあてたり、配合量が多くなると可使時間・硬化時間が短くなります。

ヒノタイト DCK-300 が付着した使用工具は、硬化前に有機溶剤（アセトン・トルエン・専用シンナー等）で洗浄してください。

ヒノタイト DCK-300 を使用するときは、直接皮膚等へ付着しないように、ゴム手袋その他保護具を着用し、通気の良い所で作業を行なってください。また、容器に記載の注意事項を良く読んでご使用ください。

【接着面の前処理】

均一な接着強度を保つために基礎スラブの上面は、出来るだけ平滑に仕上げてください。

さらにヒノタイト DCK-300 の接着性能を高くするためにチャンネル下面を清掃してください。

その他ヒノタイト DCK-300 の詳細については、「ヒノタイト取扱説明書」を参照ください。

[鉄ふた]

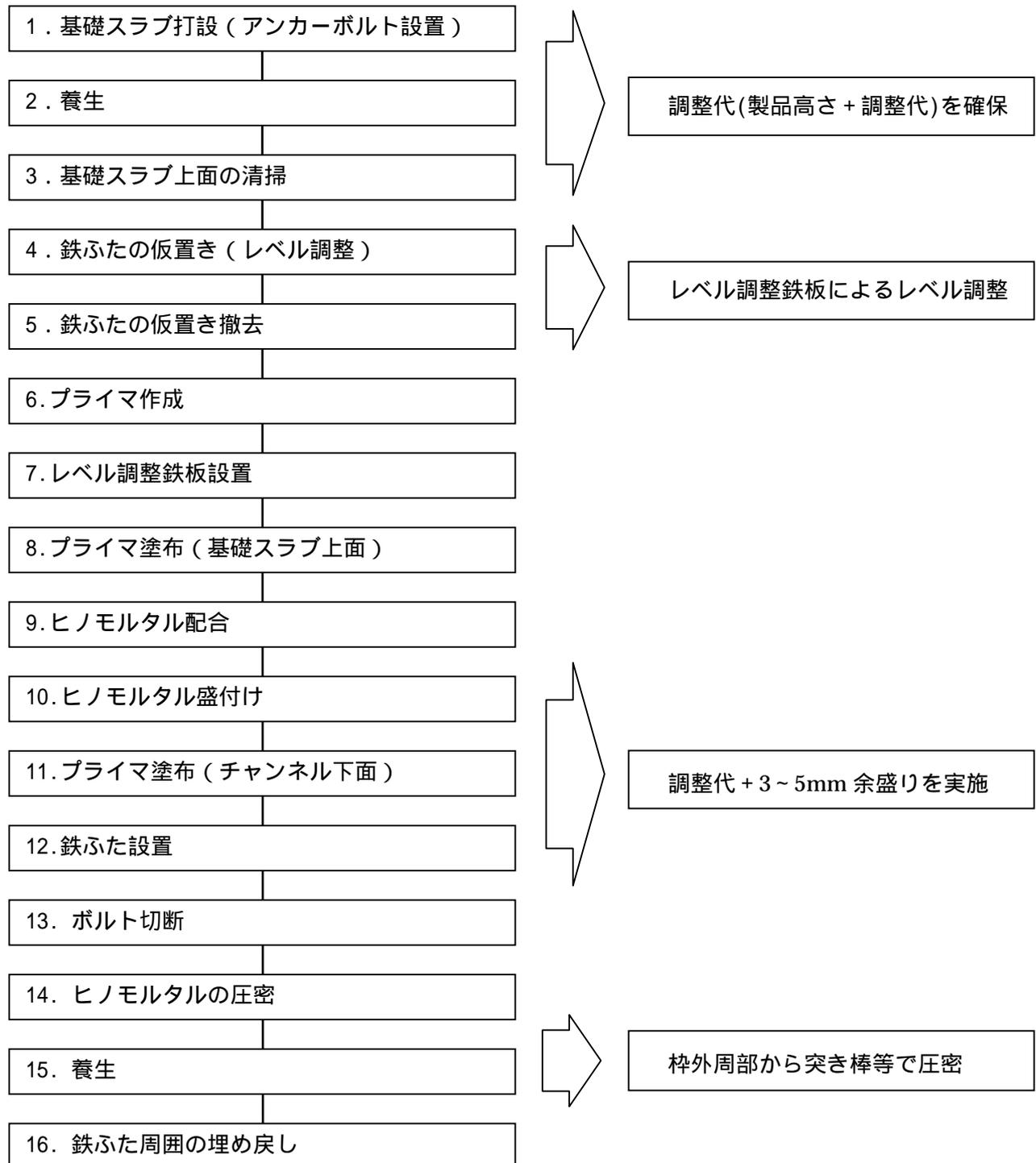
鉄ふたの施工には、ユニック車・クレーン等の重機が必ず必要です。

鉄ふた周囲の埋め戻し及びアスファルト合材打設の際は、ふたを枠に被せた状態で行ってください。

ふたを被せる時は必ずふた及び枠の接触部の異物を除去し、きれいな状態にして行ってください。

ふたの開閉作業、脱着作業の詳細は「大型連結鉄ふた NBRB 型 取扱説明書」をご覧ください。

6. 施工フローシート



7. 施工手順

7-1. 基礎スラブ打設（アンカーボルト設置）

鉄ふたの指定有効内径を厳守し、基礎スラブを平滑に打設します。このとき、鉄ふたアンカー穴位置に合わせてアンカーボルト（M20）を立てます。

（アンカーボルト位置については、別紙「アンカーボルト位置図」を参照してください。）

このとき基礎スラブ上面から G L 面までの高さ H は、

【枠内径の長手方向が 3000mm 以下の場合（6 枚ふたまで）】

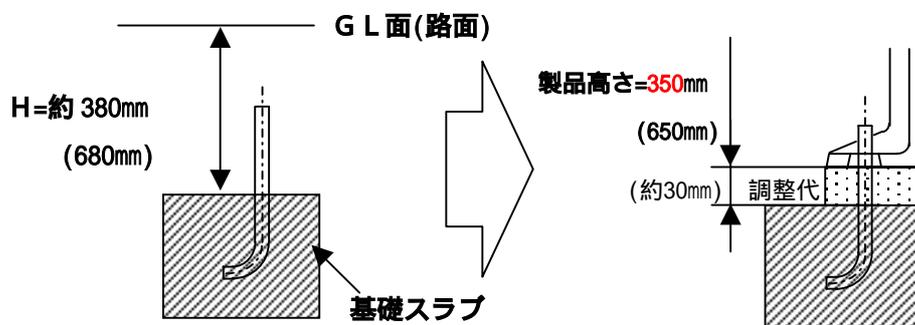
H = 約 380mm 【製品高さ(枠+チャンネル(200mm)) : 350mm + 調整代 : 約 30mm】

【枠内径の長手方向が 3500mm 以上の場合（7～10 枚ふたの時）】

H = 約 680mm 【製品高さ(枠+チャンネル(200mm+300mm)) : 650mm + 調整代 : 約 30mm】

を必ず確保してください。

以後、基礎スラブ上面から G L 面までの高さ H は上記 2 タイプの寸法を表記します。



7-2. 養生

基礎スラブは、十分な圧縮強度（約 10MPa 以上）が発現するまで養生します。

7-3. 基礎スラブ上面の清掃

基礎スラブ上面のレイタンス層^{注意}・ごみ・土砂等を手ぼうき・ワイヤブラシ及び水洗で除去します。たまり水は乾いた布で拭き取ります。



プライマの接着性能が下がるため、プライマ塗布面の水分は完全に乾燥させてください。

注意) レイタンス層...コンクリート打設表面に形成される泥質の薄膜。

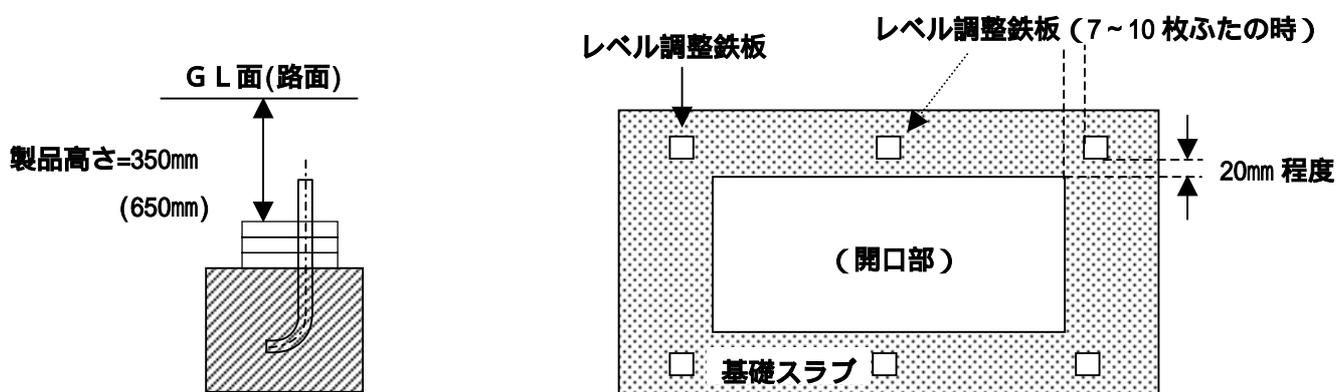
7-4. 鉄ふたの仮置き（レベル調整）

レベル調整鉄板を下図のように、G L面からの高さが350mm（650mm）となるように仮置きします。
レベル調整鉄板はコーナー部4箇所、開口部から20mm程度外側に仮置きします。

枠のたわみを防止するために、枠内径の長手方向が3500mm以上の場合（7～10枚ふたの時）は長手中央部にもレベル調整鉄板を置いて下さい。

鉄ふたのチャンネル下面には運搬用の角材が付いていますので、この角材を取り外した後に、鉄ふたを仮置きし、レベルを確認します。

仮置きした鉄ふたとG L面までの距離を測定し、ヒノモルタルの盛付け高さを記録します。



鉄ふたは重量物であるため、鉄ふたの設置にあたっては重機を使用してください。
また、重機を使用して鉄ふたの吊り上げ作業を行う際には、鉄ふたの下には立ち入らないでください。

7-5. 鉄ふたの仮置き撤去

仮置きした鉄ふたを撤去します。



撤去した鉄ふたを地面に置く場合は、必ずチャンネルの下面部分と地面との間に「7-4. 鉄ふたの仮置き」にて取外した角材を介してください。

7-6. プライマ作成

ヒノタイト DCK-300 を主剤 2 : 硬化材 1 の割合で混練し、プライマを作ります。

[プライマの作成方法]



1) 主剤と硬化剤を洗面器等のかくはん容器に重量比 2 : 1 の割合で取り出し、金ペラ等で十分に混ぜ合わせて下さい。混練時間の目安は 30 ~ 60 秒です。

DCK-300 の主剤と硬化剤は重量比で 2 : 1 のセットになっておりますので、計量器等がない場合は、1 セットをすべて混練して下さい。

2) プライマはすばやく、所定の箇所にハケで塗布して下さい。

プライマの使用可能な時間は下表の通りです。

気温毎のプライマ使用可能時間		
10	20	30
約 15 分	約 7 分	約 3 分

使用后、残ったプライマに珪砂を混ぜて使用しないでください。



ヒノタイト DCK-300 が直接皮膚等へ付着しないように、ゴム手袋その他保護具を着用し、通気の良い所で作業を行ってください。
容器に記載してある注意事項をよく読んでからご使用ください。

7-7. レベル調整鉄板設置

レベル調整鉄板は鉄ふたの仮置き(レベル調整)にて確認した枚数となるようにプライマで接着し、仮置きした場所に設置します。その際、レベル調整鉄板どうし及び基礎スラブ上面とレベル調整鉄板は全面をプライマで接着して下さい。

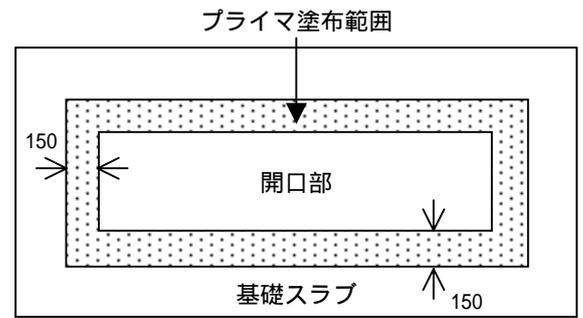
枠のたわみを防止するために、枠内径の長手方向が 3500mm 以上の場合(7 ~ 10 枚ふたの時)は長手中央部にもレベル調整鉄板を設置して下さい。



7-8. プライマ塗布（基礎スラブ上面）

基礎スラブ上面に、内周面から 150mm(中枠フランジ幅)程度の幅でプライマを全周にわたって塗布します。

可使時間（硬化が始まるまでの時間）は 20 で約 7 分です。

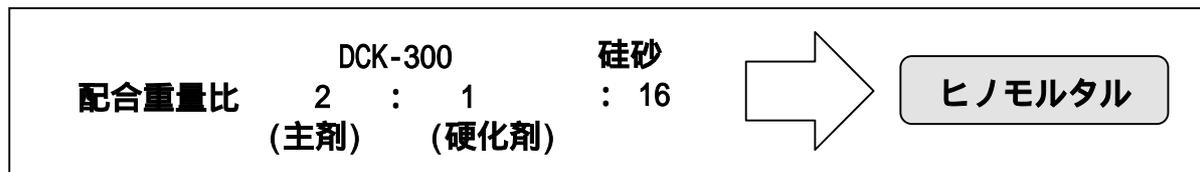


プライマが乾燥(指で触ってべとつかない程度)する前にヒノモルタルを打設する必要がある為、プライマ塗布作業は速やかに行ってください。

7-9. ヒノモルタル配合

ヒノタイト DCK-300 を主剤 2 : 硬化材 1 の割合で混練し、プライマを作ります。そこに、珪砂を 16 の割合で混練してヒノモルタルを作ります。

[ヒノモルタルの作成方法]



- 1) ヒノタイト DCK-300 の主剤と硬化剤の全てを洗面器等のかくはん拌容器に入れ、金ベラ等で充分に混ぜ合せて下さい。その後、トロ箱等の混練容器に混練したヒノタイト DCK-300 を入れ、珪砂 1 袋(8kg)と混練して下さい。混練はムラが生じないように行って下さい。
- 2) 混練したヒノモルタルはできるだけ早く、所定の箇所に盛付けて下さい。

混練後のヒノモルタルの使用可能な時間は下表の通りです。

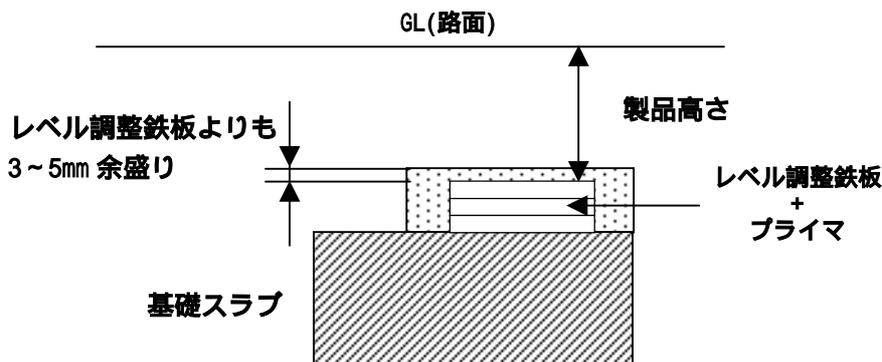
気温毎のヒノモルタル使用可能時間		
10	20	30
約 45 分	約 20 分	約 10 分

7 - 10. ヒノモルタル盛付け

プライマを塗布した基礎スラブ上面にヒノモルタルを盛付けます。盛付け高さは、製品高さに対して調整代(レベル調整鉄板)よりも3~5mm 余盛りして盛付けて下さい。その際、レベル調整鉄板の上にもヒノモルタルを盛付けて下さい。



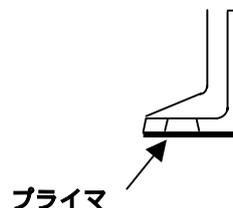
ヒノモルタルの硬化が始まる前に鉄ふたを載せて、ヒノモルタルを圧着させる必要がある為、盛付け作業は速やかに行ってください。



サイズの大きな鉄ふたに対しては、使用可能時間内にヒノモルタルを使用できない場合があります。その場合は、作業者を増やして、同時に複数のヒノモルタルを混練、盛付けをしてください。

7 - 11. プライマ塗布 (チャンネル下面)

チャンネル下面にプライマを全周にわたって塗布します。
(枠を支える角材の部分は除く)

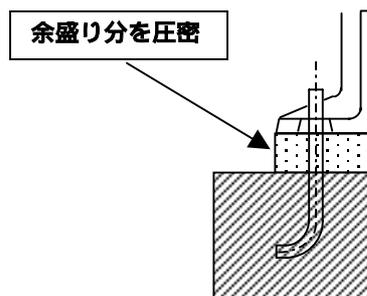


- ・プライマの接着性能を高くするためにチャンネル下面は、以下の要領で清掃してください。
 - 1) 錆が発生している場合は、サンドペーパー等でよく錆を落としてください。
 - 2) 接着阻害となる油脂等は、アセトン・シンナーなどで除去してください。
(老化した塗膜も接着阻害となります)
- ・「7-6. プライマ作成」に示したプライマ使用可能時間を過ぎたプライマは使用できません。新たにプライマを作成し、塗布してください。
- ・プライマの塗布が十分でないとヒノモルタルの接着性能が半減するため、十分に塗布してください。

7 - 12. 鉄ふた設置

基礎スラブの内壁及びアンカーボルトの位置に合わせて鉄ふたを設置します。

この時、盛付けたヒノモルタルの余盛り分（3mm～5mm）を圧着させ鉄ふたの上面と路面を合せて下さい。



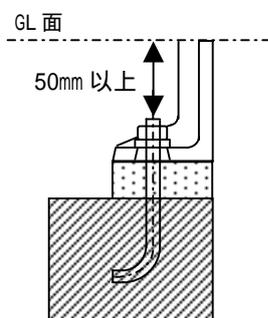
鉄ふたは重量物であるため、鉄ふたの設置にあたっては重機を使用してください。また、重機を使用して鉄ふたの吊り上げ作業を行う際には、鉄ふたの下には立ち入らないでください。

7 - 13. ボルト切断

ナットを締め付けて下さい。その後、ボルトの長さを確認し、路面から50mm以上で切断して下さい。



アンカーボルトの締め付けは枠にふたをセットした状態で行って下さい。
また、ふたのガタツキがないことを確認して下さい。



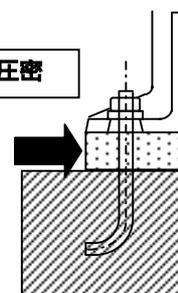
7 - 14. ヒノモルタルの圧密

枠外周部の全周から、突き棒等でヒノモルタルを内面側に圧密して下さい。

突き棒で圧密



枠と基礎スラブ間に隙間が生じると漏水の原因となりますので、必ず、枠の外周部から突き棒等でヒノモルタルを枠の内面側に押し込んで下さい。



7 - 15. 養生

ヒノモルタルが硬化するまでに十分に養生させます。

養生時間は下表の通りですが、ガスバーナ等で鉄ふた表面(枠)やコンクリートスラブ面を約 40 ~ 60 に加熱すると、養生時間が短縮されます。



ガスバーナ等を使用の際は、ヒノモルタルに直接当てないでください。
ヒノモルタルがもろくなります。

気温	ヒノモルタル
10	約 3.0 時間
20	約 2.5 時間
30	約 1.5 時間

7 - 16. 鉄ふた周囲の埋め戻し

アスファルト合材を打設する深さまで、砕石又はセメントコンクリートで埋め戻します。



鉄ふた周囲の埋め戻しの際は、ふたを被せた状態で行ってください。

8. ヒノタイト使用量

1) 基礎スラブ上面及びレベル調整鉄板接着用プライマ使用量

使用量 主剤(1kg)：硬化剤(0.5kg) 1セット

プライマは、下に示す図1・図2の範囲に塗付します。基本的なプライマの使用量は1m²当り、1kgです。現場施工においては、主剤：硬化剤の配合比率を正確に行う為に主剤、硬化剤それぞれ1セットを使い切りとします。

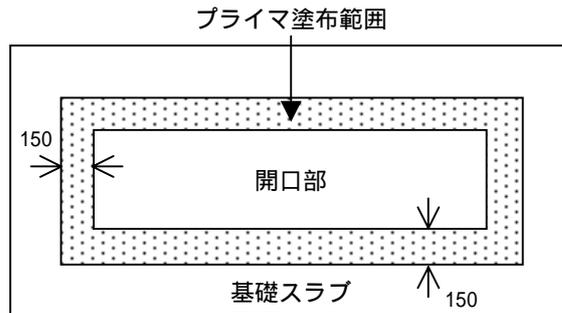


図1 基礎スラブ上面プライマ塗布箇所

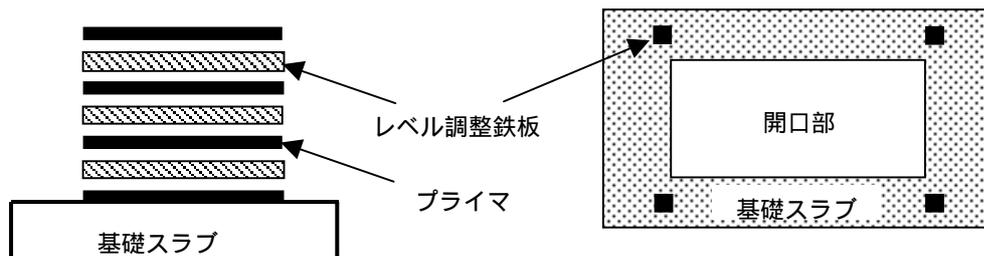


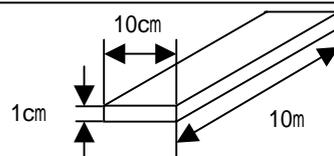
図2 レベル調整鉄板接着用プライマ塗布箇所

2) 調整部ヒノモルタル使用量

使用量 0.01m³あたり(右図)

DCK 300 主剤(1kg)：硬化剤(0.5kg) 2セット

硅砂(8kg) 2袋



ヒノモルタルは DCK 300 と硅砂を混練し、作ります。比重はどちらも 1.9 です。また、配合比は DCK300：硅砂 = 3：16 です。

---計算例---

上図の調整高さ 1cm、調整部巾 10cm、調整部総延長 10mの場合で使用量を算出。

$$\cdot \text{ヒノモルタル体積} = 0.01 \times 0.1 \times 10 = 0.01\text{m}^3$$

$$\text{DCK300 使用量} = 0.01 \times 3/19 \times 1900 = 3\text{kg} \quad 2 \text{ セット}$$

$$\text{硅砂使用量} = 0.01 \times 16/19 \times 1900 = 16\text{kg} \quad 2 \text{ 袋}$$

3) 調整部高さの違いによるヒノタイト使用量

調整部高さ 30mm が 40mm になる場合、30mm から 20mm になる場合など基準(調整部高さ 30mm)より変化する場合は、別紙の『ヒノタイト使用量一覧表・』の「調整高さ 1cm 当りの使用量」を参考に DCK-300、珪砂それぞれの使用量を増減させて使用すること。

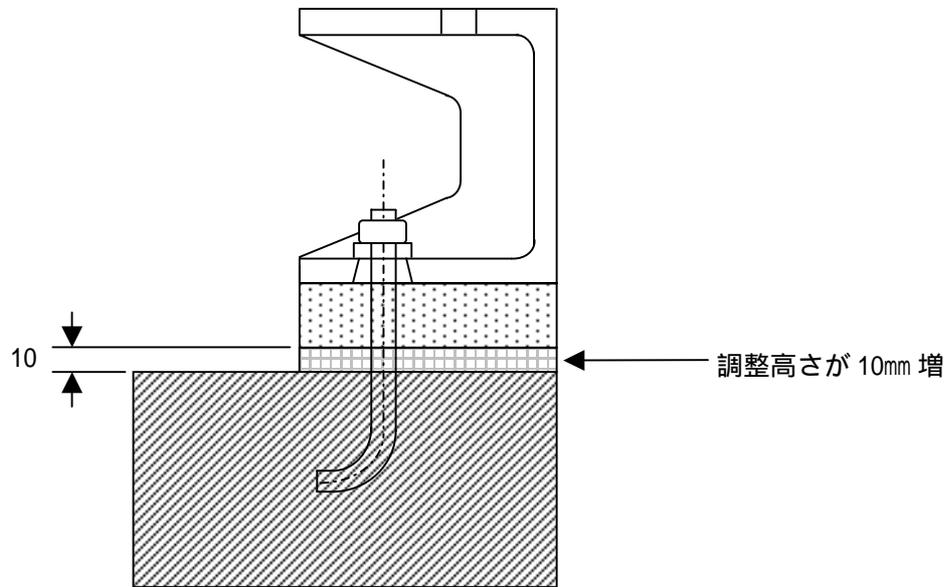


図 3 調整高さ 40mm の場合の枠断面

レベル調整部材(施工備品)一覧表

製品名		NBRB								
		12 G	13 G	14 G	15 G	16 G	17 G	18 G	19 G	10 G
		15B								
アンカーボルト M20 (本)		4	4	4	6	6	6	8	10	12
六角ナット M20 (個)		4	4	4	6	6	6	8	10	12
大型角座金(呼び20) (個)		8	8	8	12	12	12	16	20	24
レベル調整鉄板 (120)	t=2.3 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30
	t=3.2 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30
	t=4.5 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30
	t=9.0 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30

製品名		NBRB								
		22 G	23 G	24 G	25 G	26 G	27 G	28 G	29 G	20 G
		15B								
アンカーボルト M20 (本)		4	4	4	6	6	6	8	10	12
六角ナット M20 (個)		4	4	4	6	6	6	8	10	12
大型角座金(呼び20) (個)		8	8	8	12	12	12	16	20	24
レベル調整鉄板 (120)	t=2.3 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30
	t=3.2 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30
	t=4.5 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30
	t=9.0 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30

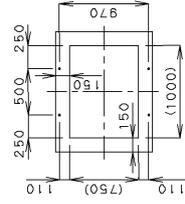
製品名		NBRB								
		32 G	33 G	34 G	35 G	36 G	37 G	38 G	39 G	30 G
		15B								
アンカーボルト M20 (本)		4	4	6	8	8	10	12	12	14
六角ナット M20 (個)		4	4	6	8	8	10	12	12	14
大型角座金(呼び20) (個)		8	8	12	16	16	20	24	24	28
レベル調整鉄板 (120)	t=2.3 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30
	t=3.2 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30
	t=4.5 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30
	t=9.0 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30

製品名		NBRB								
		42 G	43 G	44 G	45 G	46 G	47 G	48 G	49 G	40 G
		15B								
アンカーボルト M20 (本)		4	6	8	10	12	12	14	16	18
六角ナット M20 (個)		4	6	8	10	12	12	14	16	18
大型角座金(呼び20) (個)		8	12	16	20	24	24	28	32	36
レベル調整鉄板 (120)	t=2.3 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30
	t=3.2 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30
	t=4.5 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30
	t=9.0 (枚)	20	20	20	20	20	30	30	30	30

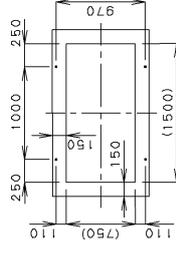
NBRB-1nタイプ アンカーボルト位置図

● アンカーボルト位置
 () 基礎スラブ内径寸法

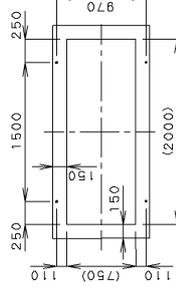
NBRB-12 (4ヶ所)



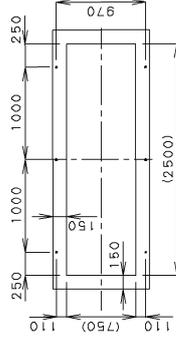
NBRB-13 (4ヶ所)



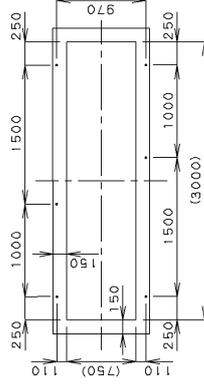
NBRB-14 (4ヶ所)



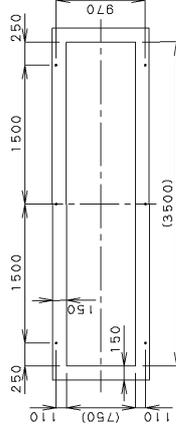
NBRB-15 (6ヶ所)



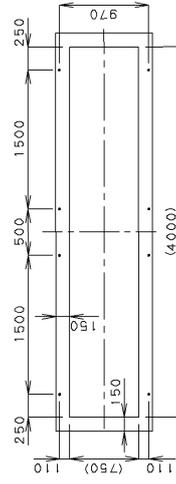
NBRB-16 (6ヶ所)



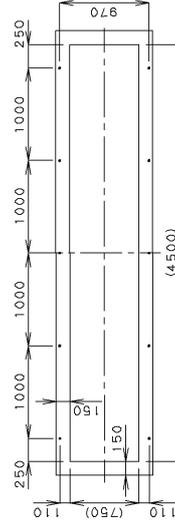
NBRB-17 (6ヶ所)



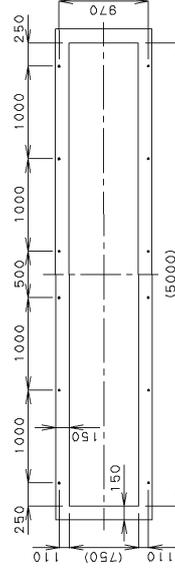
NBRB-18 (8ヶ所)



NBRB-19 (10ヶ所)



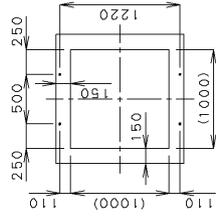
NBRB-10 (12ヶ所)



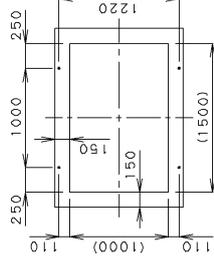
NBRB-2nタイプ アンカーボルト位置図

● アンカーボルト位置
○ 基礎スラブ内径寸法

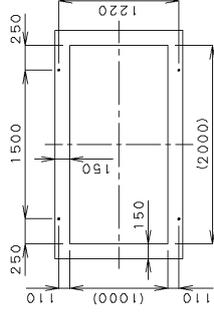
NBRB-22 (4ヶ所)



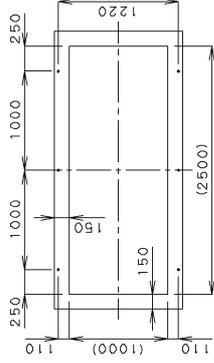
NBRB-23 (4ヶ所)



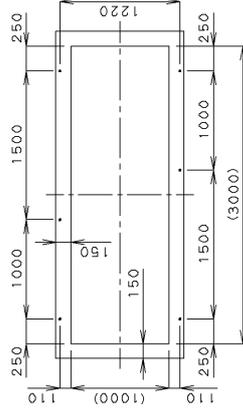
NBRB-24 (4ヶ所)



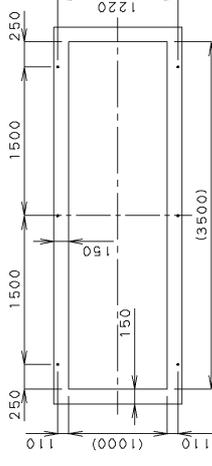
NBRB-25 (6ヶ所)



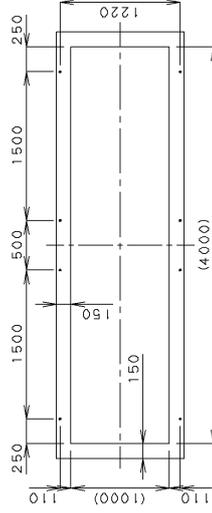
NBRB-26 (6ヶ所)



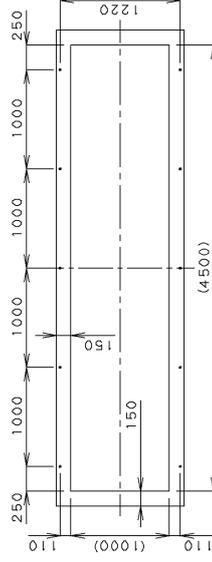
NBRB-27 (6ヶ所)



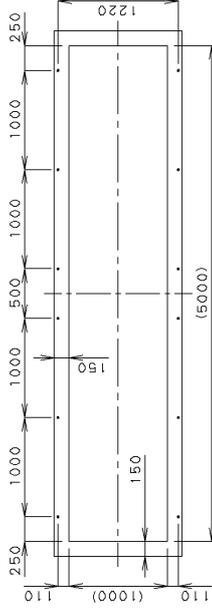
NBRB-28 (8ヶ所)



NBRB-29 (10ヶ所)



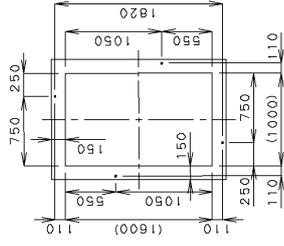
NBRB-20 (12ヶ所)



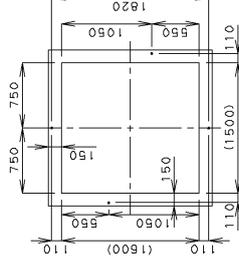
NBRB-3nタイプ アンカーホルト位置図

● アンカーホルト位置
() 基礎スラブ内径寸法

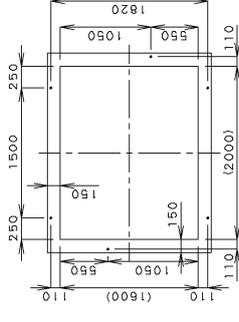
NBRB-32 (4ヶ所)



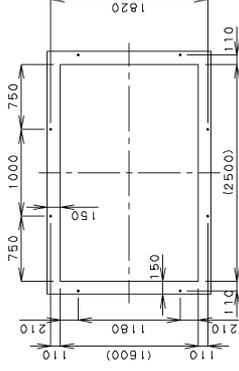
NBRB-33 (4ヶ所)



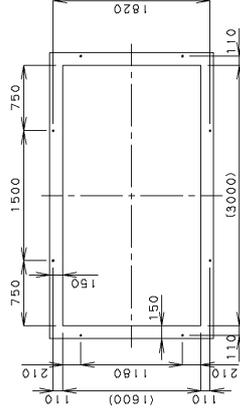
NBRB-34 (6ヶ所)



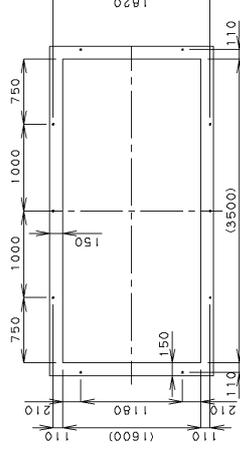
NBRB-35 (8ヶ所)



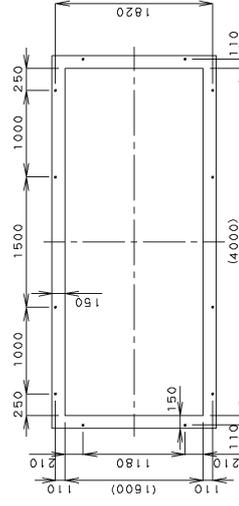
NBRB-36 (8ヶ所)



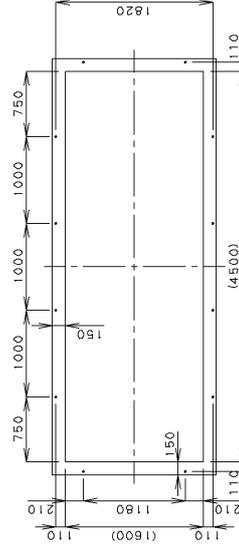
NBRB-37 (10ヶ所)



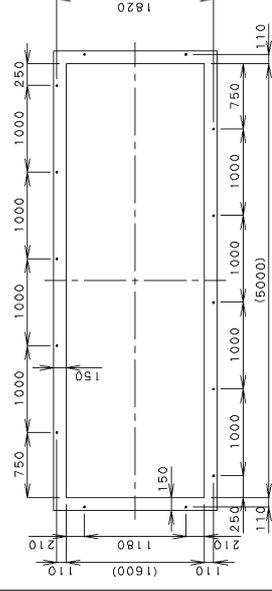
NBRB-38 (12ヶ所)



NBRB-39 (12ヶ所)



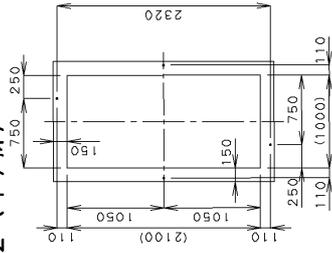
NBRB-30 (14ヶ所)



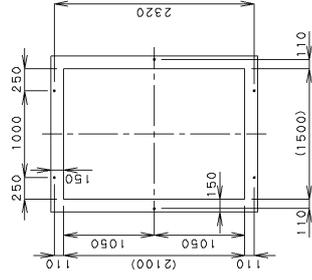
NBRB-4nタイプ アンカーホルト位置図

● アンカーホルト位置
() 基礎スラブ内径寸法

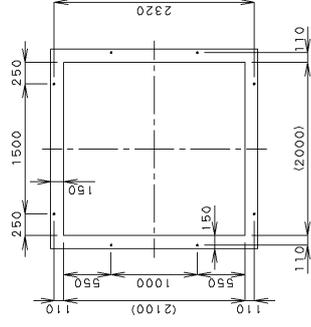
NBRB-42 (4ヶ所)



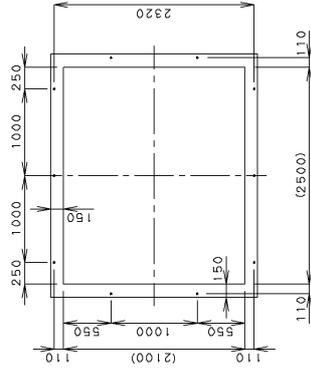
NBRB-43 (6ヶ所)



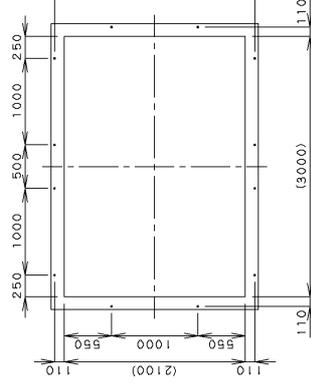
NBRB-44 (8ヶ所)



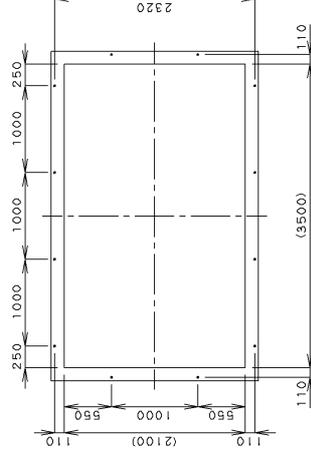
NBRB-45 (10ヶ所)



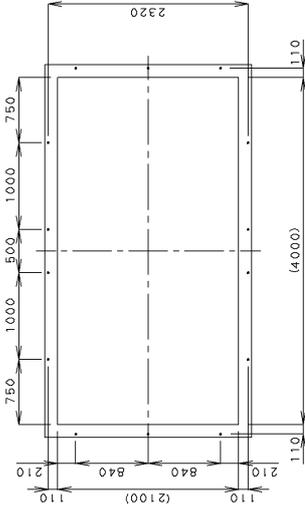
NBRB-46 (12ヶ所)



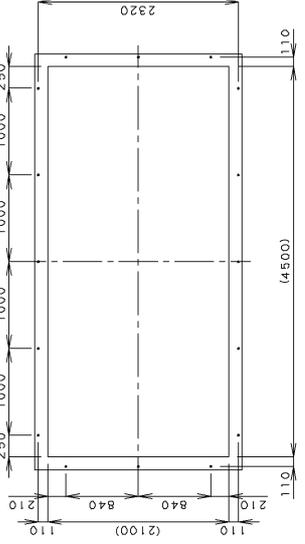
NBRB-47 (12ヶ所)



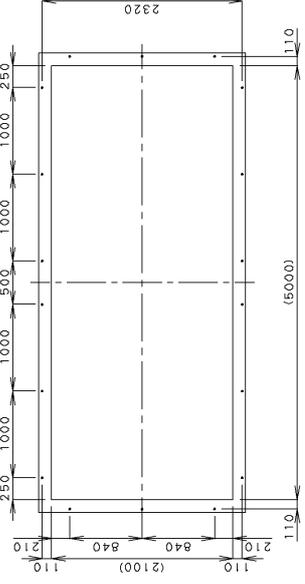
NBRB-48 (14ヶ所)



NBRB-49 (16ヶ所)



NBRB-40 (18ヶ所)



ヒノタイト使用量一覧表

製品名 NBRB-12G-15B ~ NBRB-10G-15B
 受枠外径 1300×1050 ~ 5300×1050
 受枠内径 1000×750 ~ 5000×750

製品名		NBRB								
		12G	13G	14G	15G	16G	17G	18G	19G	10G
		15B								
長手方向 X (mm)		1300	1800	2300	2800	3300	3800	4300	4800	5300
短手方向 Y (mm)		1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050
調整部高さ Z (mm)		30	30	30	30	30	30	30	30	30
ヒノモルタル盛付体積 (m ³)		0.02	0.03	0.03	0.04	0.04	0.05	0.05	0.06	0.06
ヒノモルタル 使用重量	DCK-300 (kg)	6.4	7.9	9.5	11.0	12.6	14.1	15.7	17.2	18.8
	珪砂 (kg)	33.9	42.2	50.5	58.8	67.1	75.3	83.6	91.9	100.2
ヒノモルタル 用使用数	DCK-300 (セット)	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	珪砂 (袋)	5	6	7	8	9	10	11	12	13
プライマー用DCK-300 使用セット数(セット)		1	2	2	2	2	2	2	3	3
用意する量	DCK-300 (セット)	6	8	9	10	11	12	13	15	16
	珪砂 (セット)	5	6	7	8	9	10	11	12	13
調整高さ 1cm当り の使用量	DCK-300 (kg)	2.12	2.64	3.16	3.67	4.19	4.71	5.23	5.74	6.26
	珪砂 (kg)	11.32	14.08	16.84	19.60	22.36	25.12	27.88	30.64	33.40

製品名 NBRB-22G-15B ~ NBRB-20G-15B
 受枠外径 1300×1300 ~ 5300×1300
 受枠内径 1000×1000 ~ 5000×1000

製品名		NBRB								
		22G	23G	24G	25G	26G	27G	28G	29G	20G
		15B								
長手方向 X (mm)		1300	1800	2300	2800	3300	3800	4300	4800	5300
短手方向 Y (mm)		1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300
調整部高さ Z (mm)		30	30	30	30	30	30	30	30	30
ヒノモルタル盛付体積 (m ³)		0.02	0.03	0.03	0.04	0.04	0.05	0.05	0.06	0.07
ヒノモルタル 使用重量	DCK-300 (kg)	7.1	8.7	10.2	11.8	13.4	14.9	16.5	18.0	19.6
	珪砂 (kg)	38.1	46.4	54.6	62.9	71.2	79.5	87.8	96.0	104.3
ヒノモルタル 用使用数	DCK-300 (セット)	5	6	7	8	9	10	11	13	14
	珪砂 (袋)	5	6	7	8	9	10	11	13	14
プライマー用DCK-300 使用セット数(セット)		1	2	2	2	2	2	3	3	3
用意する量	DCK-300 (セット)	6	8	9	10	11	12	14	16	17
	珪砂 (セット)	5	6	7	8	9	10	11	13	14
調整高さ 1cm当り の使用量	DCK-300 (kg)	2.38	2.90	3.42	3.93	4.45	4.97	5.49	6.00	6.52
	珪砂 (kg)	12.70	15.46	18.22	20.98	23.74	26.50	29.26	32.02	34.78

ヒノタイト使用量一覧表

製品名 NBRB-32G-15B ~ NBRB-30G-15B
 受枠外径 1300×1900 ~ 5300×1900
 受枠内径 1000×1600 ~ 5000×1600

製品名		NBRB								
		3 2 G	3 3 G	3 4 G	3 5 G	3 6 G	3 7 G	3 8 G	3 9 G	3 0 G
		1 5 B								
長手方向 X (mm)		1300	1800	2300	2800	3300	3800	4300	4800	5300
短手方向 Y (mm)		1900	1900	1900	1900	1900	1900	1900	1900	1900
調整部高さ Z (mm)		30	30	30	30	30	30	30	30	30
ヒノモルタル盛付体積 (m ³)		0.03	0.04	0.04	0.05	0.05	0.06	0.06	0.07	0.07
ヒノモルタル 使用重量	DCK-300 (kg)	9.0	10.6	12.1	13.7	15.2	16.8	18.3	19.9	21.4
	珪砂 (kg)	48.0	56.3	64.6	72.9	81.1	89.4	97.7	106.0	114.3
ヒノモルタル 用使用数	DCK-300 (セット)	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	珪砂 (袋)	7	8	9	10	11	12	13	14	15
プライマー用DCK - 300 使用セット数(セット)		2	2	2	2	2	3	3	3	3
用意する量	DCK-300 (セット)	9	10	11	12	13	15	16	17	18
	珪砂 (セット)	7	8	9	10	11	12	13	14	15
調整高さ 1cm当り の使用量	DCK-300 (kg)	3.00	3.52	4.04	4.55	5.07	5.59	6.11	6.62	7.14
	珪砂 (kg)	16.01	18.77	21.53	24.29	27.05	29.81	32.57	35.33	38.09

製品名 NBRB-42G-15B ~ NBRB-40G-15B
 受枠外径 1300×2400 ~ 5300×2400
 受枠内径 1000×2100 ~ 5000×2100

製品名		NBRB								
		4 2 G	4 3 G	4 4 G	4 5 G	4 6 G	4 7 G	4 8 G	4 9 G	4 0 G
		1 5 B								
長手方向 X (mm)		1300	1800	2300	2800	3300	3800	4300	4800	5300
短手方向 Y (mm)		2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400
調整部高さ Z (mm)		30	30	30	30	30	30	30	30	30
ヒノモルタル盛付体積 (m ³)		0.04	0.04	0.05	0.05	0.06	0.06	0.07	0.07	0.08
ヒノモルタル 使用重量	DCK-300 (kg)	10.6	12.1	13.7	15.2	16.8	18.3	19.9	21.4	23.0
	珪砂 (kg)	56.3	64.6	72.9	81.1	89.4	97.7	106.0	114.3	122.5
ヒノモルタル 用使用数	DCK-300 (セット)	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	珪砂 (袋)	8	9	10	11	12	13	14	15	16
プライマー用DCK - 300 使用セット数(セット)		2	2	2	2	3	3	3	3	3
用意する量	DCK-300 (セット)	10	11	12	13	15	16	17	18	19
	珪砂 (セット)	8	9	10	11	12	13	14	15	16
調整高さ 1cm当り の使用量	DCK-300 (kg)	3.52	4.04	4.55	5.07	5.59	6.11	6.62	7.14	7.66
	珪砂 (kg)	18.77	21.53	24.29	27.05	29.81	32.57	35.33	38.09	40.85